

音楽科学習指導案

1 日 時 平成 年 月 日 () ~ 月 日 () 全7時間

2 学年・組 第 学年 組 (名)

3 場 所 年 組教室・音楽室

4 題 材 我が国や郷土の伝統音楽の魅力を味わおう～「長刀鉾祇園囃子」のおもしろさを見つけよう～

5 題材の目標

「長刀鉾祇園囃子」で演奏されている和楽器の音色やリズムなどに親しみ、それらを生かして自分たちの音楽をつくる活動を通し、京都の伝統音楽のよさや面白さを味わう。

6 本題材と学習指導要領の関わり

- ・指導事項 A表現(3)音楽づくり イ, B鑑賞(1)イ
- 〔共通事項〕 ア(ア)音色・リズム・強弱 (イ)反復

7 題材設定の意図

(1) 題材について

本題材は、「長刀鉾祇園囃子」で演奏されている和楽器の音色やリズムなどに親しみ、それらを生かして自分たちの音楽をつくる活動を通し、京都の伝統音楽のよさや面白さを味わうことをねらいとした題材である。

学習指導要領の鑑賞の指導事項では、主に「楽曲を全体にわたり感じ取ること」「楽曲の構造を理解して聴くこと」「楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること」の三つが挙げられている。そこで、第1時の新しい楽曲との出会いの場面では、祇園祭についてのお話を聞くとともに、「長刀鉾祇園囃子」の本物の音色にふれ、楽曲を全体にわたり感じ取ることができるようにしたい。第2時では、「長刀鉾祇園囃子」の一曲『獅子』に焦点をあてて、感じたことを話し合い、音楽のどこからそう感じたのかをもう一度聴き返すことで、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴くことができるようにしたい。

第3時から第6時までは、鑑賞の活動で学んだ、音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かし、自分たちのお囃子をつくる。第5時・第6時では、つくった音楽を発表し、聴き合うことで、それぞれがつくった音楽のよさを交流し認め合う場としたい。

第7時では、音楽づくりで培った力を生かし、再び鑑賞する活動を行う。第1時で聴いた曲をもう一度聴き、感じたことや気付いたことを振り返ることにより、音楽を形づくっている要素に改めて気付くことができるようにしたい。また、「長刀鉾祇園囃子」の紹介文を書いて、友だちに楽曲のよさや面白さを伝えるとともに、京都の伝統音楽を大切にしたいという思いをもつことができればと考える。

このように、鑑賞と表現(音楽づくり)の活動を関連付けて学習を進めることで、主体的・創造的に取り組む力の育成を目指したい。また、このような学習の積み重ねが、音楽と生活との関わりに関心をもち、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むことにつながると考える。

(2) 題材の構造図

「長刀鉾祇園囃子」のおもしろさを見つけよう

題材の目標：「長刀鉾祇園囃子」で演奏されている和楽器の音色やリズムなどに親しみ、それらを生かして自分たちの音楽をつくる活動を通し、京都の伝統音楽のよさや面白さを味わう。(全7時間)
■…題材を通して指導する、「共通事項」に示された音楽を形づくっている要素

(①時間目)

祇園祭について知り、「長刀鉾祇園囃子」の本物の音色を聴こう。

◇鑑賞1H

祇園祭に対する思いを知る。

- 昔から大切にされているお祭りなんだな。
- 私たちが住んでいる京都には、すばらしい祭りがあるんだな。

「長刀鉾祇園囃子」の演奏を聴く。

- にぎやかで、お祭りの感じがするよ。
- 三つの楽器があるね。(音色)
- 「コンチキチン」って聴こえるよ。
- 少しずつ曲が変わっていくね。

もっと「祇園囃子」の曲について知りたいな。

(②時間目)

「長刀鉾祇園囃子」の曲『獅子』を聴いて、曲のおもしろさを見つけよう。

◇鑑賞1H

音色

リズム

強弱

反復

- 笛と太鼓と鉦の音色がそれぞれわかったよ。
- 鉦の音色は高さがちがうよ。
- 太鼓には強弱があるよ。
- 何回かくり返しているんだね。(反復)
- リズムをつくってみたいな。

自分たちのお囃子をつくってみたいな。

～鑑賞の活動で学んだことを生かして、音楽づくりの活動へ～

グループで
(③～⑤時間目)

自分たちのお囃子をつくろう。

鉦のリズム

太鼓のリズム

- ③鉦のリズムをつくる。
- ④太鼓のリズムをつくる。
- ⑤更に工夫する。(強弱、反復、かけ声など)

- リズムを組み合わせよう。
- かけ声をつくって、元気なおはやしにしよう。
- 打つ場所で音色を変えてみよう。

クラスで
(⑥時間目)

発表して
聴き合う

「獅子」の曲の仕組みを生かして自分たちのお囃子ができたね。

～音楽づくりで培った力を生かして、再び鑑賞の活動へ～

(⑦時間目)

もう一度「長刀鉾祇園囃子」を聴き、曲のおもしろさを伝えよう。

◆鑑賞1H

- もう一度聴くと、三つの楽器の音色が重なっていることがよくわかったよ。
- 三回反復していたよ。
- 京都の伝統音楽を大切にしたいな。
- 祇園祭に行くと祇園囃子を聴きたくなったよ。
- 地域の伝統音楽についても調べたいな。

わたしたちが感じた京都の伝統音楽のよさをみんなに伝えたいな。

8 教材について

「長刀鉾祇園囃子」から『獅子』

現在、10以上の「鉾」「曳き山」「傘鉾」で傳承されている祇園囃子は、鉦・締太鼓・笛（能管）の三種類の楽器で演奏し、各山鉾独自の曲をもっている。長刀鉾では7月17日の巡行当日、八坂神社へ向かって進むときに囃す奉納囃子、(曲目は地囃子・神楽・唐子など)と四条河原町での辻廻し以降に囃す戻り囃子(曲目は朝日・青葉・獅子・九段・緑・巴など)が伝わっている。今回取り上げる『獅子』は、「コンチキチン」の鉦のリズムが特徴的な、長刀鉾の囃子の中で最もポピュラーな曲である。鉦・太鼓・笛の音の重なりや、反復の特徴を鑑賞しやすい教材である。

9 題材の評価規準及び評価の視点

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
音楽づくり	○	○	○	
鑑賞	○			○
題材の評価規準	<p>楽曲の気分、音楽を形づくっている要素の関わり合い、声や音の様々な特徴や面白さに興味・関心を持ち、曲を聴いたり、簡単な音楽をつくったりする学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、自分たちのお囃子を工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いをもっている。</p>	<p>声や音の様々な特徴に気付いたり、音楽の仕組みを生かしたりするなどの基礎的な技能を身に付けて、自分たちのお囃子をつくっている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の気分、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取ったり、楽曲や演奏の楽しさに気付いたりして、味わって聴いている。</p>
評価の視点	<p>①楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②鑑賞の活動で学んだ、音楽の仕組みや、音を音楽にしていくことに興味・関心を持ち、思いをもって鉦のリズムをつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていることと試して、思いをもって太鼓のリズムをつくる工夫をしている。</p> <p>②鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていることをいろいろと試して、自分の考えや願いをもってお囃子をつくる工夫をしている。</p>	<p>①鑑賞の活動で学んだ、反復などの音楽の仕組みを生かし、自分たちのお囃子をつくっている。</p>	<p>①音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴いている。</p> <p>②音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の気分や音色・リズム・強弱・反復などの関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲のよさや面白さに気付いて聴いている。</p>

	<p>5 ○自分たちでつくった音楽を更に工夫する。</p>	<p>*鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などの音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かすことにより、つくった音楽を更に工夫することができるようにする。</p>	<p>いろと試して、思いをもって太鼓のリズムをつくる工夫をしている。 (つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・アレンジカード・学習カード)</p> <p>【イー②】 鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていくことをいろいろと試して、自分の考えや願いをもってお囃子をつくる工夫をしている。 (つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・アレンジカード・学習カード)</p>
<p>第3次 1</p>	<p>6 ○自分たちのつくったお囃子を発表して聴き合う。</p>	<p>*鑑賞の活動で学んだ、反復などの音楽の仕組みを生かすことにより、自分たちのお囃子をつくることのできるようにする。</p>	<p>【ウー①】 鑑賞の活動で学んだ、反復などの音楽の仕組みを生かし、自分たちのお囃子をつくっている。 (演奏の聴取・発言・アレンジカード・学習カード)</p>
	<p><ねらい> 音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲のよさや面白さに気付いて聴く。 <教材> 「長刀鉾祇園囃子」から『獅子』 〔共通事項〕 ア (ア) 音色・リズム・強弱 (イ) 反復</p>	<p>*聴くポイントを変えて何回も曲を聴くことにより、音楽を形づくっている要素である音色・リズム・強弱・反復などに気付くことができるようにする。</p> <p>*①楽器の種類、②音楽を形づくっている要素などを用いて紹介文を書くことにより、楽曲のよさや面白さを伝えることができるようにする。</p>	<p>【エー②】 音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の気分や音色・リズム・強弱・反復などの関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲のよさや面白さに気付いて聴いている。 (聴いている様子の観察・発言・紹介文)</p>
	<p>7 ○もう一度「長刀鉾祇園囃子」を聴き、曲のよさや面白さを紹介する。</p> <p>(紹介文の例) 「長刀鉾祇園囃子」は、鉦・太鼓・笛の三つの楽器で演奏されています。三つの楽器が重なるとにぎやかな感じがします。何回かくり返しがあります。ぜひ聴いてみてください。</p>		

1 1 本時の学習 (1 / 7時)

- (1) 目標 楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組む。
 (2) 展開

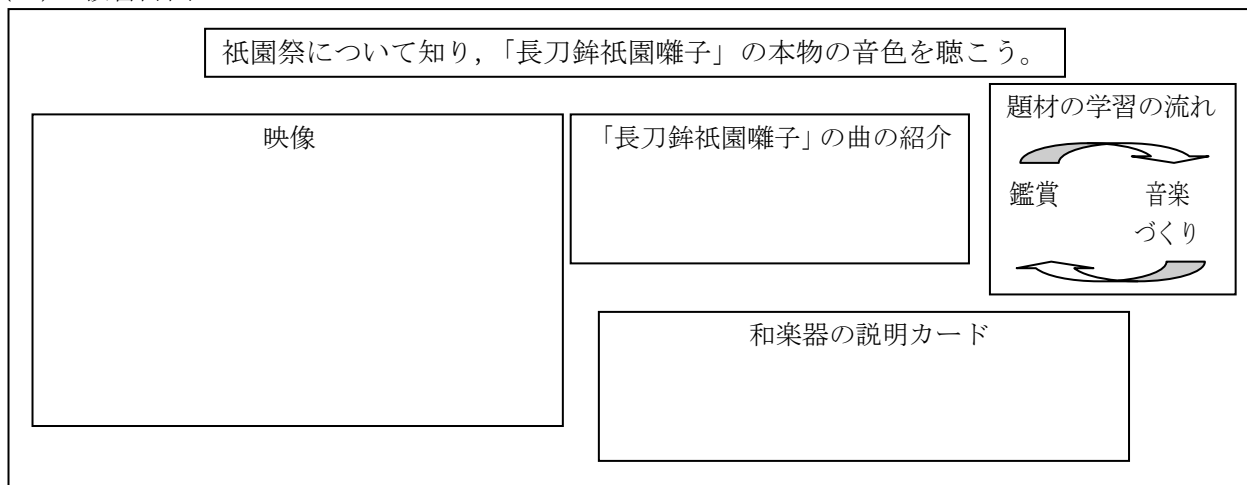
学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 本時のめあての確認をする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">祇園祭について知り、「長刀鉾祇園囃子」の本物の音色を聴こう。</p> <p>2 祇園祭・長刀鉾・祇園囃子のお話を視聴する。 「長刀鉾祇園囃子保存会の方によるお話を視聴しましょう。」 ・祇園祭は、昔から大切にされているお祭なんだな。 ・私たちが住んでいる京都には、すばらしい祭りがあるんだな。</p> <p>3 「長刀鉾祇園囃子」の演奏を聴く。 「『長刀鉾祇園囃子』の演奏を聴いたり観たりしましょう。」 ・にぎやかで、お祭りの感じがするよ。 ・三つの楽器があるね。 ・「コンチキチン」って聴こえるよ。 ・少しずつ曲が変わっていくね。</p> <p>4 感想を学習カードに書く。 「お話や演奏をきいた感想を書きましょう。」 ・本当のお祭りみたいで、にぎやかな感じがしたよ。 ・いろんな音が聴こえたよ。 ・楽器の名前がわかったよ。 ・ぼくもやってみたいな。</p> <p>5 次時の予告をする。 「次の時間は、「長刀鉾祇園囃子」の曲『獅子』のおもしろさを見つけましょう。」</p>	<p>*題材の学習の流れを提示し、関連を図る意義を伝えるようにする。</p> <p>*京都で大切に受け継がれている伝統音楽であることを知ることにより、興味・関心をもつことができるようにする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">*三つの和楽器（笛・太鼓・鉦）で演奏されていることや、奏法によって音色が変わることを知ることにより、これからの活動の見通しをもって演奏を聴くことができるようにする。</p> <p>○鑑賞した感想を学習カードに書く。</p> <p>○次時は、「長刀鉾祇園囃子」の一曲『獅子』のおもしろさを見つける学習をすることを予告する。</p>	<p>【ア-①】 楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 (聴いている様子の観察・学習カード)</p>

(3) 評価活動の実際

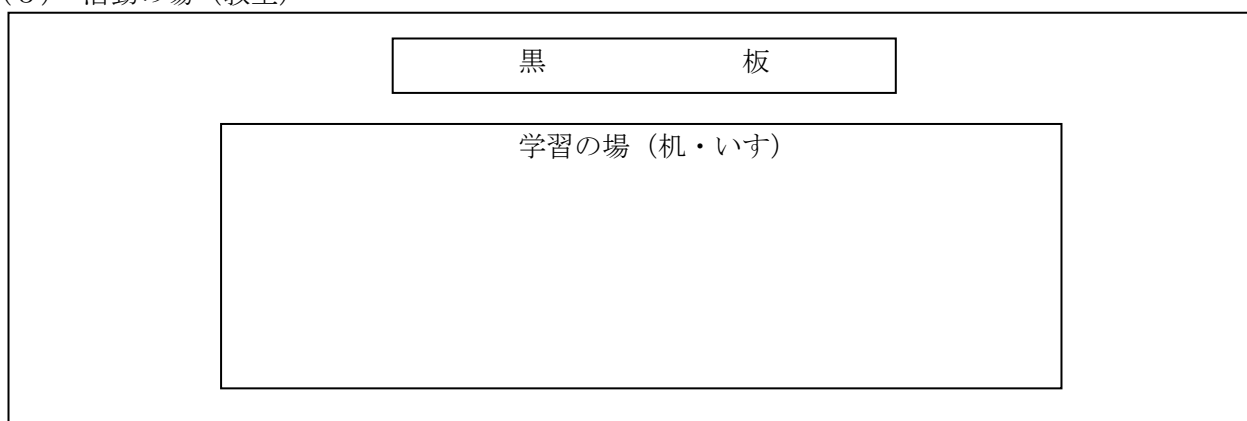
【音楽への関心・意欲・態度】(1/7時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【ア-①】 楽曲全体にわたる気分を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・奏法によって音色が変わることが聴き取りにくい子どもには、実際に楽器を見せ、音色を聴くことで気付くことができるようにする。	○質的に高まった状況 ・拍の流れを感じながら聴く活動に意欲的に取り組んでいる。
○具体的な評価方法 ・演奏のよさを感じ取って聴く学習に進んで取り組んでいるかどうかを、聴いている様子の観察・学習カードから見取る。	

(4) 板書計画



(5) 活動の場(教室)



1 1 本時の学習 (2 / 7時)

(1) 目標 音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さなどを
感じ取りながら, 音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴く。

(2) 展開

学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 前時の学習を想起する。 「感想を交流しましょう。」 ・にぎやかな感じだったね。 ・三つの楽器の名前がわかったよ。</p> <p>2 本時のめあての確認をする。</p>	<p>*前時で書いた学習カードをもとに, 全体で交流することにより, 学習の見通しをもつことができるようにする。</p>	
<p>「長刀鉾祇園囃子」の曲『獅子』を聴いて, 曲のおもしろさを見つけよう。</p>		
<p>3 曲を聴いて, 感じたことや気付いたことを交流する。 「どんな感じがしましたか。」 ・楽しい感じがする。 ・にぎやかな感じがするよ。 ・お祭りみたいな感じがするよ。</p> <p>「音楽のどこからそう感じましたか。」 ・笛・太鼓・鉦の音色が重なり合ってにぎやかに聴こえるよ。 ・鉦の音色「コンチキチン」を聴いていると, お祭りみたいな感じがするよ。</p> <p>「気付いたことはありますか。」 ・鉦は, 打つ場所で音色が変わるね。 ・同じリズムのくり返しがあるよ。 ・鉦や太鼓のリズムを真似してみよう。</p>	<p>*感じたことを話し合い, 音楽のどこからそう感じたのかをもう一度聴き返すことにより, 音楽を形づくっている要素と関連させることができるようにする。</p> <p>○感じたことと気付いたことを, 分けて板書する。</p> <p>○【共通事項】カード(音楽を形づくっている要素が書かれたカード)を提示する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">*聴くポイントを変えて何回も曲を聴くことにより, 音楽を形づくっている要素である音色・リズム・強弱・反復などに気付くことができるようにする。</p> <p>*気が付いたときは手を挙げたり, 演奏の真似をしたりすることにより, 与えた視点をとらえているか, 確認するようにする。</p> <p>*楽譜を提示することにより, 気付いたことを視覚的に確かめることができるようにする。</p>	<p>【エー①】 音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さなどを 感じ取りながら, 音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴いている。 (聴いている様子の観察・発言・学習カード)</p>
<p>4 次時の予告をする。 「次時からは, 『獅子』の曲の感じを生かして, 自分たちで音楽をつくっていきましょう。」</p>	<p>○学習したことを, 学習カードに書く。 ○次時から, グループに分かれて音楽をつくることを予告する。</p>	

(3) 評価活動の実際
【鑑賞の能力】(2/7時)

評価の視点とその具体の姿	
<p>○評価の視点 【エー①】 音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら，音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取って聴いている。</p>	
↑	↓
<p>○支援が必要とされる子どもへの働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を聴き取りにくい子どもには，既習の学習や，〔共通事項〕カードの掲示を見て，どれにあてはまるか考えるように助言する。 ・学習カードに書くことができにくい子どもには，板書を参考にしたり，音楽を形づくっている要素を用いて書いたりするように助言する。 	<p>○質的に高まった状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや気付いたことについて，音楽を形づくっている要素を用いて，積極的に発言している。 ・音楽を形づくっている要素を的確に用い，学習カードに書いている。
<p>○具体的な評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや気付いたことを，音楽を形づくっている要素と関連付けて考えられているかどうかを，聴いている様子の観察や発言，学習カードから見取る。 	

(4) 板書計画

「長刀鉾祇園囃子」の曲『獅子』を聴いて，曲のおもしろさを見つけよう。			
感じたこと	和楽器の 説明カード	「獅子」の拡大楽譜	〔共通事項〕 カード
気付いたこと			

(5) 活動の場(教室)

黒板
学習の場(机・いす)

1 1 本時の学習 (3 / 7時)

(1) 目標 鑑賞の活動で学んだ、音楽の仕組みや、音を音楽にしていくことに興味・関心を持ち、思いをもって鉦のリズムをつくる学習に進んで取り組む。

(2) 展開

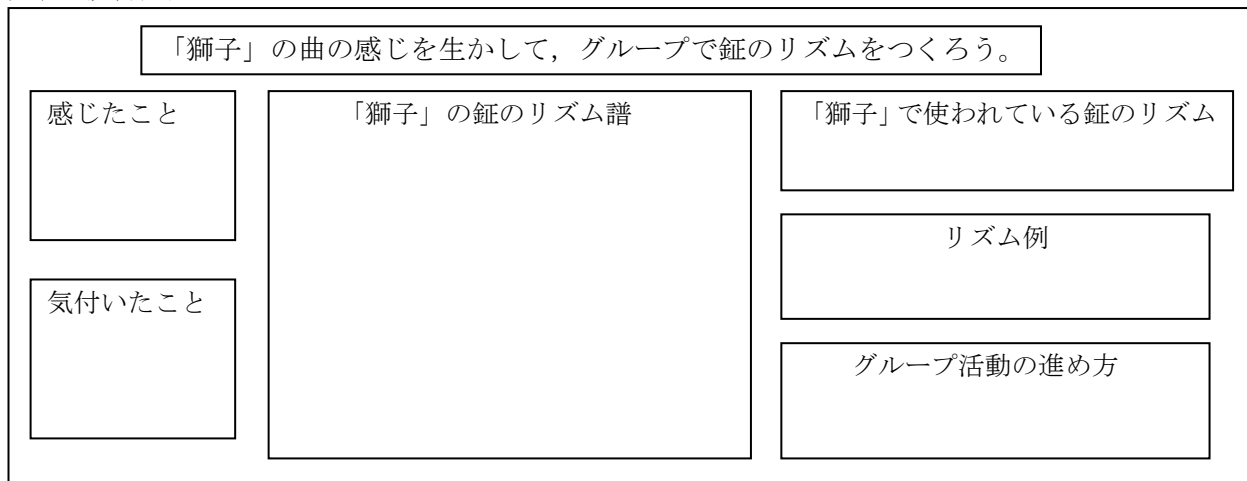
学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■ 本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 前時の学習を想起する。 『獅子』はどんな感じの曲でしたか。」 ・にぎやかな感じだったね。 ・三つの和楽器は、違う音色だったね。 ・くり返しがあったね。</p> <p>2 本時のめあての確認をする。</p>	<p>*前時の学習を想起し、曲の感じや音楽を形づくっている要素について確かめることにより、学習の見通しをもつことができるようにする。</p>	
<p>「獅子」の曲の感じを生かして、グループで鉦のリズムをつくろう。</p>		
<p>3 音楽をつくるときの工夫について、全体で話し合う。 「全体で鉦のリズムの作り方を確認しましょう。」 ・打つ場所（底とふち）によって音色が変わるんだね。 ・2拍子で4小節の音楽をつくるんだね。 ・リズムカードを組み合わせたり動かしたりしてつくるんだね。</p>	<p>*全体で、鉦の奏法、音楽の作り方などを確認することにより、グループ活動がスムーズにできるようにする。 *「獅子」の演奏を模倣することにより、鉦のリズムの作り方をイメージできるようにする。</p>	
<p>4 グループに分かれて、鉦のリズムをつくる。 「グループに分かれて練習し、鉦のリズムを完成させましょう。」 ・にぎやかな感じになるように、音色の高さを変えてみよう。 ・楽しい感じになるように、リズムを細かくしてみよう。</p>	<p>○グループ用の楽譜（アレンジカード）を用意し、話し合った工夫を書き込む。 *工夫したリズムを口唱歌で確かめたり演奏の真似をしたりすることにより、リズムを体で感じるができるようにする。 ○鉦の代替物を用意する。</p>	<p>【ア②】 鑑賞の活動で学んだ、音楽の仕組みや、音を音楽にしていくことに興味・関心を持ち、思いをもって鉦のリズムをつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>
<p>*鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などの音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かすことにより、鉦のリズムをつくるができるようにする。</p>		<p>(つくっている様子の観察・発言・アレンジカード・学習カード)</p>
<p>5 つくった音楽を何グループか発表し、全体で聴き合う。 「感じに合った音楽になっているかどうか、聴きましょう。」 ・にぎやかな感じになるように、鉦のリズムをつくりました。 ・音色の高さが変わったから、にぎやかな感じがしたよ。</p>	<p>*どんな感じになるように音楽を工夫してつくったのかを伝えてから発表することにより、聴くポイントをもって聴くことができるようにする。 *感じに合った音楽になっているかを交流することにより、つくった音楽のよさを認め合うことができるようにする。</p>	
<p>6 次時の予告をする。 「次時は、鉦のリズムに合った太鼓のリズムをつくりましょう。」</p>	<p>○学んだことを、学習カードに書く。</p>	

(3) 評価活動の実際

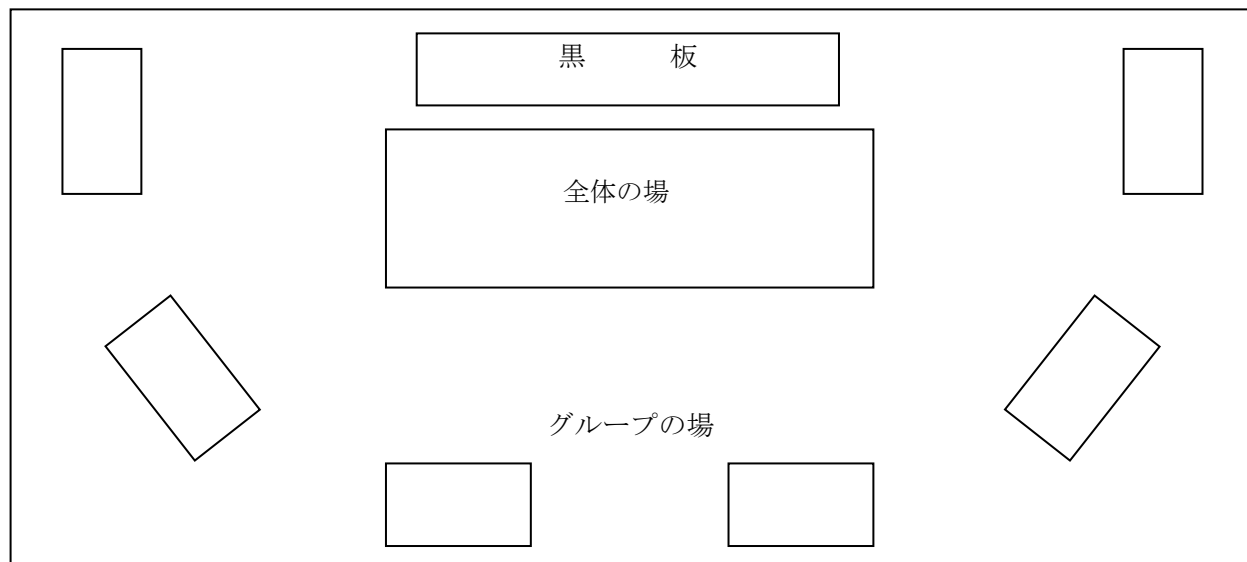
【音楽への関心・意欲・態度】(3/7時)

評価の視点とその具体的姿	
<p>○評価の視点 【ア-②】 鑑賞の活動で学んだ、音楽の仕組みや、音を音楽にしていくことに興味・関心を持ち、思いをもって鉦のリズムをつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p>	
<p>○支援が必要とされる子どもへの働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習で、進んで考えたり音楽をつくったりすることができにくい子どもには、グループの友だちの意見を聞いたり、友だちの音をよく聴いてつくったりするように助言する。 	<p>○質的に高まった状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい演奏にしようと、グループのみんなに積極的に声をかけている。 ・表現の工夫に気付き、積極的に発言している。
<p>○具体的な評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉦のリズムをつくる学習に進んで取り組んでいるかどうかを、つくっている様子の観察・発言・アレンジカード・学習カードから見取る。 	

(4) 板書計画



(5) 活動の場(音楽室)



1 1 本時の学習（4／7時）

(1) 目標 鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていくことをいろいろと試して、思いをもって太鼓のリズムをつくる工夫をする。

(2) 展開

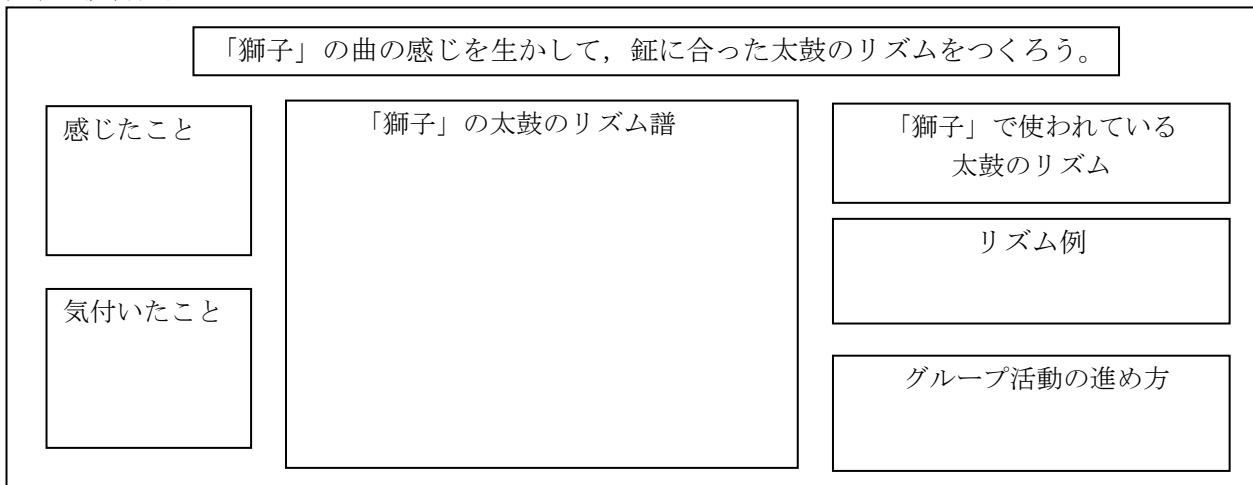
学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
1 前時の学習を想起する。 「前時につくった、鉦のリズムを思い出しましょう。」	*前時の学習を想起することにより、学習の見通しをもつことができるようにする。	
「獅子」の曲の感じを生かして、鉦に合った太鼓のリズムをつくろう。		
3 音楽をつくるときの工夫について、全体で話し合う。 「全体で太鼓のリズムの作り方を確認しましょう。」 ・ばちを上からおろすことで、強く打つことができるんだね。 ・鉦のリズムに合うように、リズムカードをつけて楽譜をつくるんだね。	*全体で、太鼓の奏法、楽譜の作り方などを確認することにより、グループ活動がスムーズにできるようにする。 *「獅子」の演奏を模倣することにより、太鼓のリズムの作り方をイメージできるようにする。 ○鉦の代替物、締太鼓とばちをグループごとに用意する。 *練習の進め方を提示することにより、グループで活動しやすいようにする。	
4 グループに分かれて、鉦に合った太鼓のリズムをつくる。 「グループに分かれて練習し、太鼓のリズムを完成させましょう。」 ・にぎやかな感じになるように、強さを変えてみよう。 ・鉦に合わせるために、同じリズムを入れてみよう。	○グループ用の楽譜（アレンジカード）を用意し、話し合った工夫を書き込む。 *工夫したリズムを口唱歌で確かめたり演奏の真似をしたりすることにより、リズムを体で感じることができるようにする。 *鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などの音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かすことにより、太鼓のリズムをつくることができるようにする。	【イー①】 鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていくことをいろいろと試して、思いをもって太鼓のリズムをつくる工夫をしている。
5 つくった音楽を何グループか発表し、全体で聴き合う。 「感じに合った音楽になっているかどうか、聴きましょう。」 ・にぎやかで楽しそうな感じがしたよ。 ・鉦のリズムとよく合っていたよ。	*感じに合った音楽になっているかを交流することにより、つくった音楽のよさを認め合うことができるようにする。	(つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・アレンジカード・学習カード)
6 次時の予告をする。 「次時は、自分たちでつくった音楽を、更に工夫しましょう。」	○学んだことを、学習カードに書くようにする。	

(3) 評価活動の実際

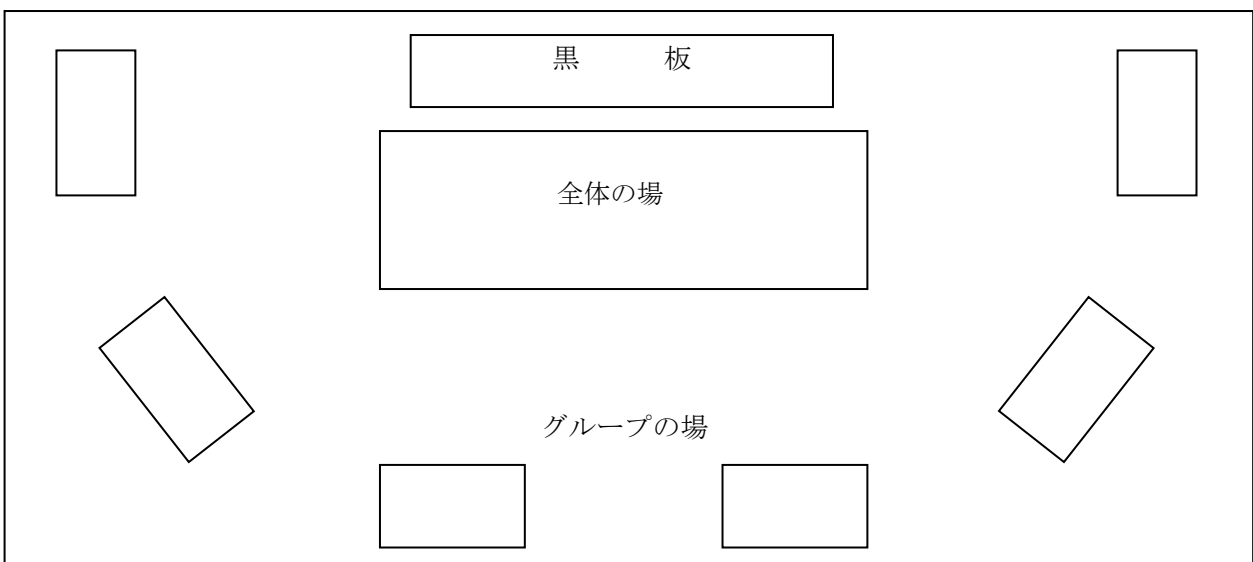
【音楽表現の創意工夫】(4/7時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【イー①】 鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていくことをいろいろと試して、思いをもって太鼓のリズムをつくる工夫をしている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・グループ学習で、音楽をつくることができにくい子どもには、板書を見たり、グループの友だちの意見を聞いたりして、音楽をつくるように助言する。 ・表現の工夫に気付きにくい子どもには、グループのめあてを意識して聴くように助言する。	○質的に高まった状況 ・よりよい演奏にしようと、グループのみんなに積極的に声をかけている。 ・表現の仕方を工夫し、音楽を形づくっている要素を生かした演奏をしている。
○具体的な評価方法 ・鑑賞の活動で学んだ、音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かし、どのように太鼓のリズムをつくっているかどうかを、つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・アレンジカード・学習カードから見取る。	

(4) 板書計画



(5) 活動の場 (音楽室)



1 1 本時の学習（5／7時）

- (1) 目標 鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていけることをいろいろと試して、自分の考えや願いをもってお囃子をつくる工夫をする。
- (2) 展開

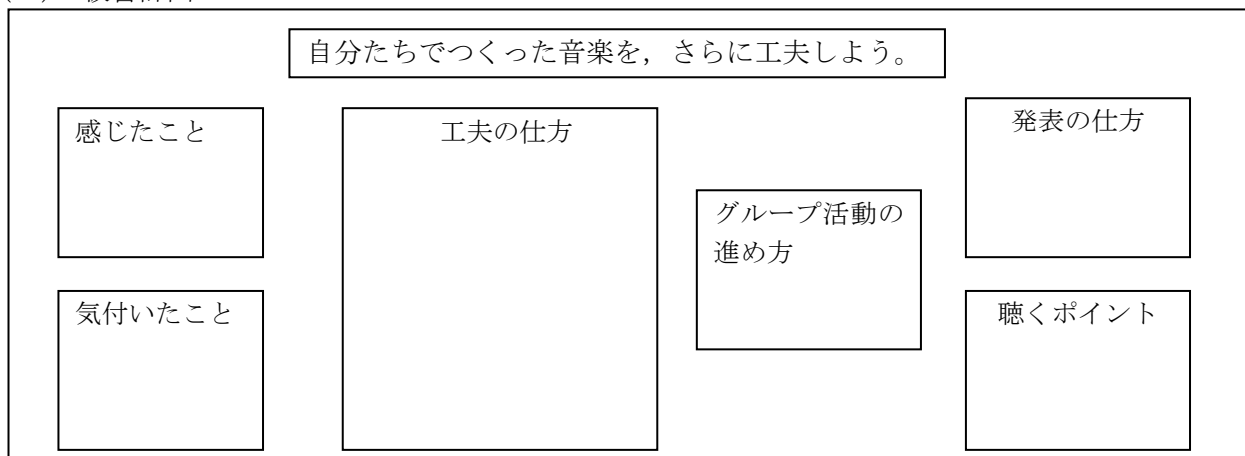
学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
1 前時の学習を想起する。 「グループでつくった音楽を演奏しましょう。」	*前時の学習を想起することにより、学習の見通しをもつことができるようにする。	
2 本時のめあての確認をする。		
自分たちでつくった音楽を、さらに工夫しよう。		
3 音楽をつくるときの工夫について、全体で話し合う。 「全体で工夫の仕方を確認しましょう。」 ・反復をつかって工夫するんだね。 ・強弱を変えてもいいね。 ・かけ声を入れてもいいんだね。	*全体でもう一度「獅子」を聴き、工夫の仕方を確認することにより、グループ活動がスムーズにできるようにする。 ○鉦の代替物、締太鼓とばちをグループごとに用意するようにする。 *練習の進め方を提示することにより、グループで活動しやすいようにする。	
4 グループに分かれて、更に工夫する。 「グループに分かれて、つくった音楽を更に工夫しましょう。」 ・つくった音楽を3回反復しよう。 ・太鼓にもっと強弱をつけよう。 ・かけ声を入れて元気な感じにしよう。	○グループ用の楽譜（アレンジカード）を用意し、話し合った工夫を書き込む。 *鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などの音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かすことにより、つくった音楽を更に工夫することができるようにする。	【イー②】 鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていけることをいろいろと試して、自分の考えや願いをもってお囃子をつくる工夫をしている。
5 つくった音楽を聴き合う。 「感じに合った音楽になっているかどうか、聴き合ひましょう。」 ・楽しい感じになるように、はじめとおわりにかけ声を入れました。太鼓をだんだん強くしました。聴いてください。 ・太鼓がだんだん強くなったので楽しい感じがしました。もう少しかけ声を大きくしたらいいと思います。	*どんな感じになるように音楽を工夫してつくったのかを伝えてから発表することにより、聴くポイントをもって聴くことができるようにする。 *感じに合った音楽になっているかを交流することにより、つくった音楽のよさを認め合うことができるようにする。	(つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・アレンジカード・学習カード)
6 次時の予告をする。 「次時は、自分たちでつくったお囃子を発表しましょう。」	○学んだことを、学習カードに書くようにする。	

(3) 評価活動の実際

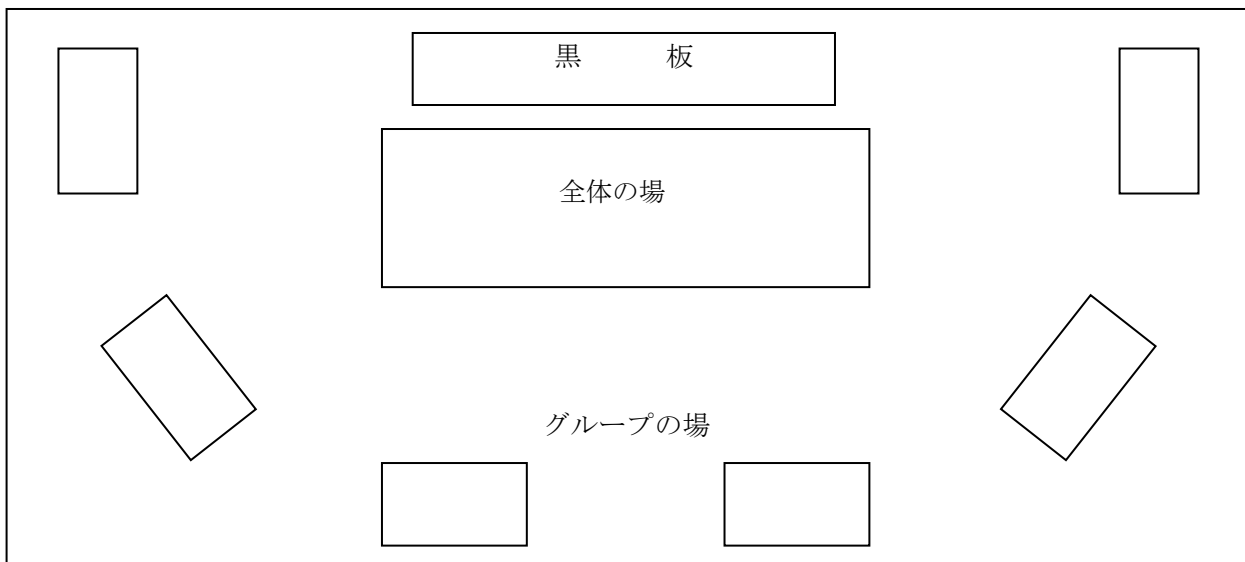
【音楽表現の創意工夫】(5 / 7時)

評価の視点とその具体的姿	
○評価の視点 【イー②】 鑑賞の活動で学んだ、音色・リズム・強弱・反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽の仕組みを生かし、音を音楽にしていくことをいろいろと試して、自分の考えや願いをもってお囃子をつくる工夫をしている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・グループ学習で、音楽をつくることができにくい子どもには、板書を見たり、グループの友だちの意見を聞いたりして、友だちと一緒に音楽をつくるように助言する。 ・表現の工夫に気付きにくい子どもには、他のグループのめあてを意識して聴くように助言する。	○質的に高まった状況 ・よりよい演奏にしようと、グループのみんなに積極的に声をかけている。 ・他のグループの表現の工夫について、的確に意見を言っている。
○具体的な評価方法 ・鑑賞の活動で学んだ、音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かし、どのように自分たちの音楽を工夫しているかどうかを、つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・アレンジカード・学習カードから見取る。	

(4) 板書計画



(5) 活動の場 (音楽室)



1 1 本時の学習（6 / 7時）

- (1) 目標 鑑賞の活動で学んだ、反復などの音楽の仕組みを生かし、自分たちのお囃子をつくる。
 (2) 展開

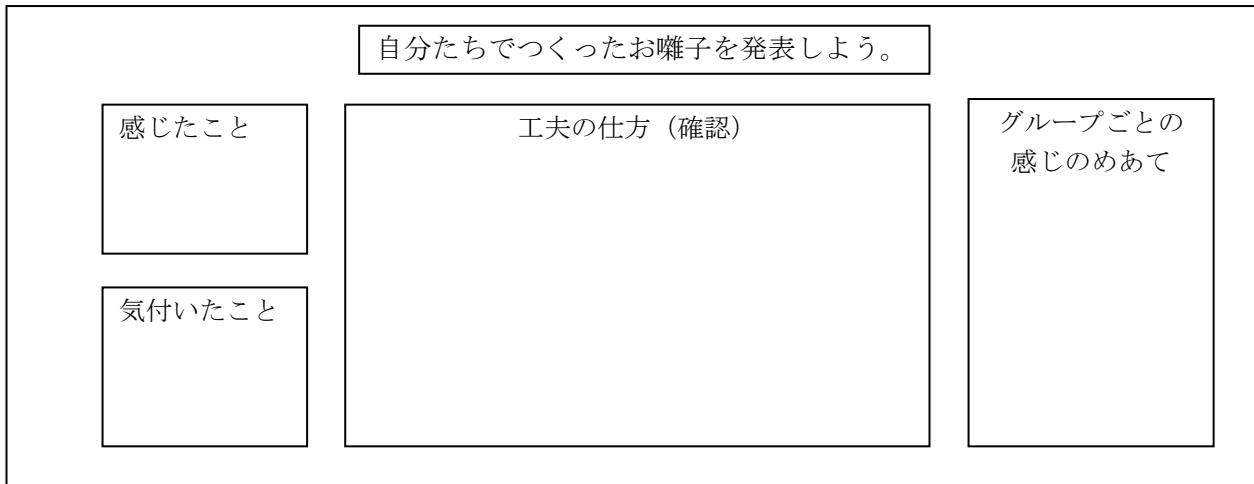
学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
1 前時の学習を想起する。 「グループでつくった音楽を演奏しましょう。」 2 本時のめあての確認をする。	*前時の学習を想起することにより、学習の見通しをもつことができるようにする。	
自分たちでつくったお囃子を発表しよう。		
3 全体で音楽のつくり方を確認する。 「音楽のつくり方を確認しましょう。」 ・前にアドバイスしてもらったことを生かして完成させよう。 4 グループに分かれて、音楽を仕上げる。 「グループに分かれて最後の練習をし、音楽を仕上げましょう。」 ・3 回くり返して、強弱をはっきりつけよう。 5 つくった音楽を発表し、全体で聴き合う。 「つくった音楽を発表しましょう。」 6 次時の予告をする。 「次時は、もう一度『長刀鉾祇園囃子』を聴き、曲のよさを見つけましょう。」	*全体で、工夫の仕方を確認することにより、グループ活動がスムーズにできるようにする。 *鑑賞の活動で学んだ、反復などの音楽の仕組みを生かすことにより、自分たちのお囃子をつくるできるようにする。 *発表は録画・録音することにより、後で確かめることができるようにする。 *感じに合った音楽になっているかを交流することにより、つくった音楽のよさを認め合うことができるようにする。 ○学んだことを、学習カードに書くようにする。	【ウー①】 鑑賞の活動で学んだ、反復などの音楽の仕組みを生かし、自分たちのお囃子をつくっている。 (演奏の聴取・発言・アレンジカード・学習カード)

(3) 評価活動の実際

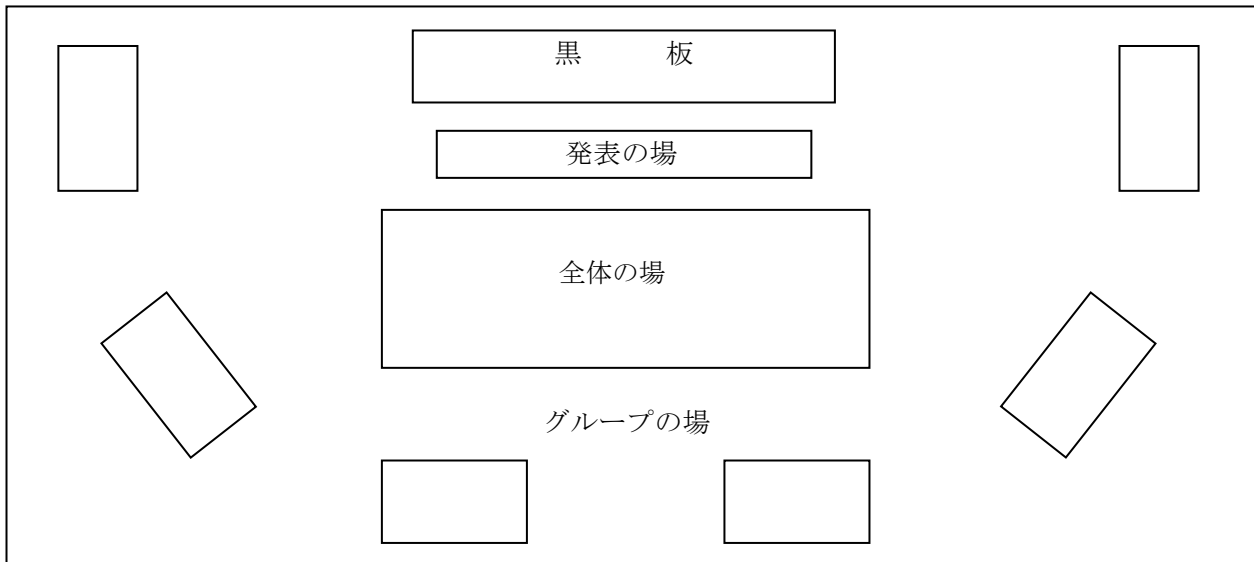
【音楽表現の技能】(6/7時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【ウー①】 鑑賞の活動で学んだ、反復などの音楽の仕組みを生かし、自分たちのお囃子をつくっている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・音楽の仕組みを生かして音楽をつくることができにくい子どもには、板書を見たり、グループの友だちの意見を聞いたり、友だちの音をよく聴いたりして、音楽をつくるように助言する。	○質的に高まった状況 ・よりよい演奏にしようと、グループのみんなに積極的に声をかけている。 ・表現の仕方を工夫し、音楽の仕組みを生かした演奏をしている。
○具体的な評価方法 ・鑑賞の活動で学んだ、音楽の仕組みを生かして、自分たちの音楽をつくっているかどうかを、演奏の聴取・発言・アレンジカード・学習カードから見取る。	

(4) 板書計画



(5) 活動の場 (音楽室)



1 1 本時の学習（7／7時）

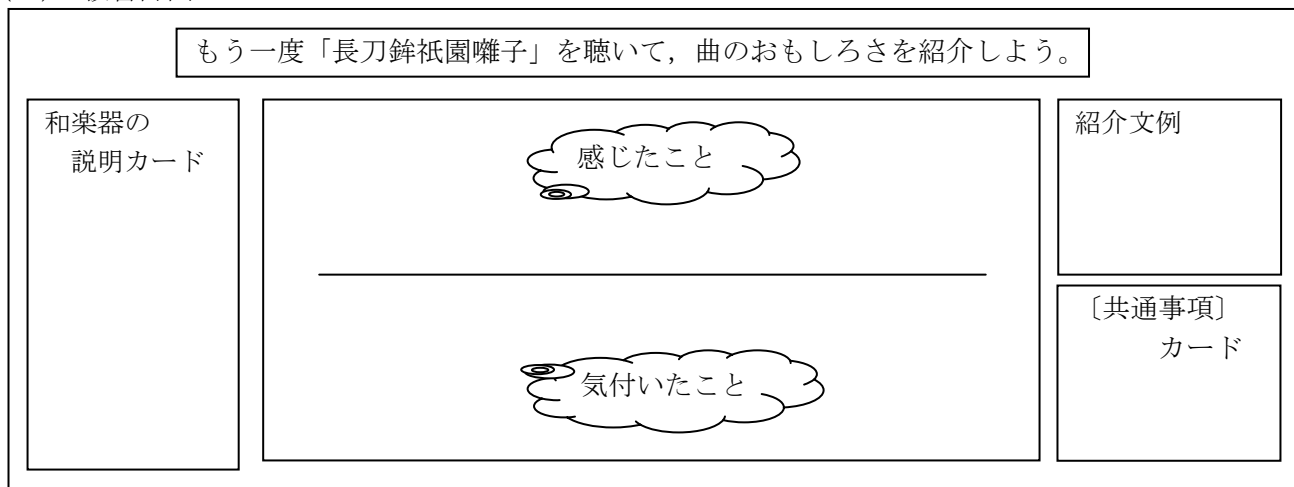
- (1) 目標 音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の気分や音色・リズム・強弱・反復などの関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲のよさや面白さに気付いて聴く。
- (2) 展開

学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 前時の学習を想起する。 「前時につくった、自分たちの音楽を視聴しましょう。」 ・自分たちのお囃子をつくることができたね。</p> <p>2 本時のめあての確認をする。</p>	<p>*前時に録画・録音したものを視聴することにより、自分たちの作った音楽を確かめることができるようにする。</p>	
<p>もう一度「長刀鉾祇園囃子」を聴いて、曲のおもしろさを紹介しよう。</p>		
<p>3 「長刀鉾祇園囃子」を聴き、感じたことや気付いたことを交流する。 「もう一度聴いて、感じたことや気付いたことはありますか。」 ・にぎやかな感じがした理由がわかったよ。 ・三つの和楽器の音色がはっきりと聴き分けられたよ。 ・3回反復していたよ。</p> <p>4 曲のよさを伝える紹介文を書く。 「『長刀鉾祇園囃子』を聴いて、曲のよさや面白さを紹介しましょう。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(紹介文の例) 「長刀鉾祇園囃子」は、鉦・太鼓・笛の三つの楽器で演奏されています。三つの楽器が重なるとにぎやかな感じがします。何回かくり返しがあります。ぜひ聴いてみてください。</p> </div>	<div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>*聴くポイントを変えて何回も曲を聴くことにより、音楽を形づくっている要素である音色・リズム・強弱・反復などに気付くことができるようにする。</p> </div> <p>*演奏の様子を視聴することにより、演奏の形態にも気付くことができるようにする。</p> <p>*例文を提示することにより、紹介文の書き方の参考になるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>*①楽器の種類、②音楽を形づくっている要素などを用いて紹介文を書くことにより、楽曲のよさや面白さを伝えることができるようにする。</p> </div> <p>*京都の伝統音楽であることを改めて伝えることにより、京都のすばらしい伝統を大切にしたいという思いをもつことができるようにする。</p>	<p>【エー②】 音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の気分や音色・リズム・強弱・反復などの関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲のよさや面白さに気付いて聴いている。 (聴いている様子の観察・発言・紹介文)</p>

(3) 評価活動の実際
【鑑賞の能力】(7/7時)

評価の視点とその具体の姿	
<p>○評価の視点 【エー②】 音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の気分や音色・リズム・強弱・反復などの関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲のよさや面白さに気付いて聴いている。</p>	
↑	↓
<p>○支援が必要とされる子どもへの働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を聴き取りにくい子どもには、既習の学習や、[共通事項]カードの掲示を見て、どれにあてはまるか考えるように助言する。 ・紹介文を書くことができにくい子どもには、例文や板書を参考にしたり、音楽を形づくっている要素を用いて書いたりするように助言する。 	<p>○質的に高まった状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや気付いたことについて、音楽を形づくっている要素を用いて、積極的に発言している。 ・音楽を形づくっている要素を的確に用い、紹介文を書いている。
<p>○具体的な評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲や演奏の楽しさに気付いて聴いているかどうかを、聴いている様子の観察・発言から見取る。 ・楽曲の気分と音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表しているかどうかを、紹介文から見取る。 	

(4) 板書計画



(5) 活動の場(教室)

